

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	建設部 運河河川管理担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		連絡先	052-698-3680
事務事業名	堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理・運用		連携課	事業推進課、管財課、施設工事担当
目的	対象(誰・何を)	ポンプ施設・防潮扉等	事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。		
概要	堀川口の防潮水門・ポンプ施設および港内の防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。		根拠法令等	海岸法第14条の5 堀川口防潮水門操作要綱第15条
活動内容	異常が確認された、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	270,014	334,085	307,490	303,863	防潮水門の耐波性向上のための工事が完了した事による減額
人件費	千円	76,913	79,687	77,343	77,981	
合計	千円	346,927	413,772	384,833	381,844	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
災害時の施設の故障発生件数(件) (単年度管理型)	目標	-	0	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。		
	実績	0	0	0				
事業進捗状況(27年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
施設の年間試運転の回数(回) (単年度管理型)	目標	-	221	228	-	稼働施設(ポンプ、水門、防潮扉(締切状態の扉を除く))の年間総試運転回数を指標とします。		
	実績	215	221	228				
事業進捗状況(27年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る	稼働施設数H25:42、H26:42、H27:42		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	堀川口防潮水門・ポンプ施設・防潮扉等について直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時に異常なく稼働しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならぬ事業か?	○					海岸管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。	
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					災害に備え、海岸保全施設としての機能維持ができ、災害時に異常なく稼働しています。	
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○					計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しています。	

4 ACTION(取組)

課題	28年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理が要求されます。	災害発生を防止するため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。